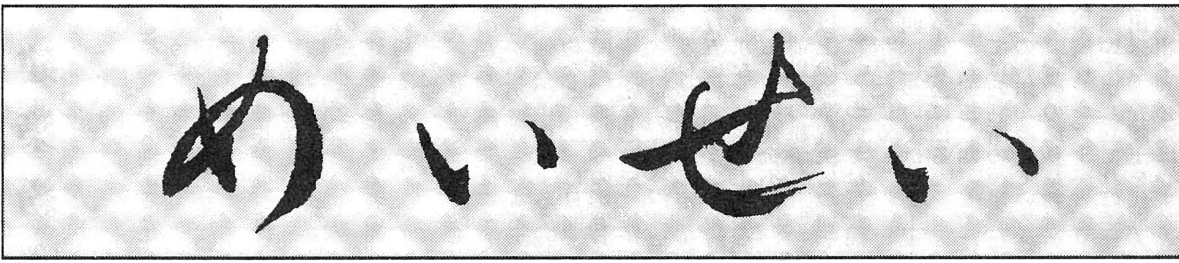


〈第 3 号〉

発行：社団法人 愛知建築士会
名古屋西支部事務局
西春日井郡清洲町清洲2217-1
馬場富雄宅内
TEL (052) 400-1826
編集：広報渉外委員会
印刷所：(株)ワコーヴィスコム
TEL (052) 915-0681



大学の先生を招いて 勉強会
10月8日 フイットネスホテル に於て

SRC構造における配筋の問題点と合理的な配筋法について
第三回研修会報告
去る十月八日午後六時三十分より名古屋駅前フイットネスホテルに於て、名古屋工業大学教授工学博士福知保長氏を講師にお招きして標題の講義を受講致しました。参加者は二十一名と中規模の研修会となりました。

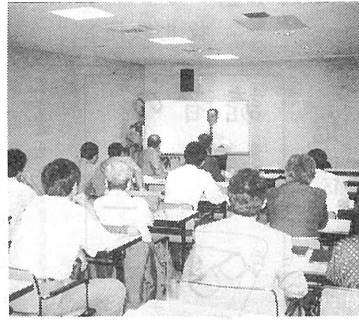
研修内容は、SRC構造はRCに比べ靱性に富み耐震性に優れている、又鉄骨構造に比べコンクリートの拘束効果によってある程度の座屈を防ぐことが出来、高層ビルの構造形式に最適なものとして採用されている。問題点はコンクリートの充填性が良くなく、配筋が不十分で、鉄骨ボルトが締めにくい、工期が長くなり、建設費が高つく。これらの問題を...



正面右 福知先生、左 馬場支部長

〈総務企画委員会だより〉
一、平成三年名古屋西支部会員の動向
名古屋西支部の会員数は十月三日現在三三〇名です。平成二年設立総会時は一九五名でありましたが、会報第一号発送時に入会のお誘いを同封し、二八五名に増加し、更にめいせい第二号発送時に二回目の入会のお誘いを同封させていただきました結果、現在に至っております。今後は支部活動を一層発展させるべく役員一同努力をいたします。

し、もっとも会員の増員を図る次第でございますので、よろしくお願ひいたします。
二、会費の納入状況
会費の納入方法を郵便払込方法にさせていただきます。九月二十九日現在、平成三年度分は94%に達しております。まだ未納の方が見えますが、たぶんお忘れの事と思っておりますので、御入金下さる様お願い申し上げます。
三、その他
現在、役員選出基準、支部運営規定、慶弔規定等を平成三年十二月をめどに検討中でございます。もし御意見等がお有りになる方は申し出下さい。なお支部活動の役員増員も検討しておりますので、参加御希望の方が見えでしたら申し出下さる様お願い申し上げます。

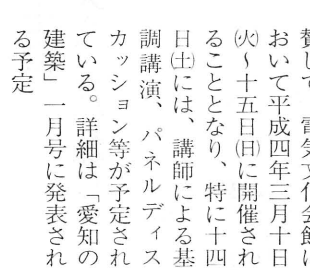
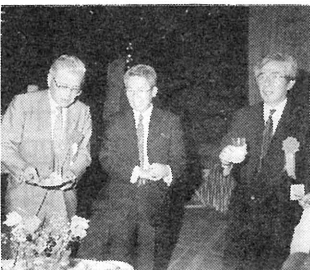


講義風景

四十周年記念式典に参加して
七月十九日名古屋観光ホテルで四十周年の式典が参加者七百余名にて盛大に開催されました。
四十周年の企画でいろいろな事業が発表され、今年一年大変なことだと思いましたが、出来るだけ手伝いが少なく、早い時期に終わるよう式典委員を選びました。ただ、士会その他の委員会、他団体の役員会等重なるので、ほとんど出席せず式典の企画が進みました。せめて当日の手伝いだけでも、受付にずっと張り付いていたので、実際のセレモニーに

中村 順吉

は出席しておりません。普通、式典は祝辞と表彰及び記念講演会です。今回はパーティ会場で酒宴をあげながらの表彰、アトラクションがどたばた、委員会に出席せず、ものをいろいろも何ですが、いろいろな人々に話を聞いても少し行き過ぎな面はあったのだと思います。料理が少なく、人の声は大なり小なり多数の人々の思いではなかったかと思ひます。
表彰基準についてもいろいろいわれた人がいました。考えてみると、四十年



- 〈本会だより〉
① 創立四十周年記念祝賀会 開催される
② 四十周年記念ゴルフ大会 開催される
③ 『建築総合展』開催
九月十九日、二十三日、名古屋吹上ホールで例年通り開催され、期間中の入場者は約九万名。
④ 『第三十四回建築士全国大会』開催される
⑤ 『四十周年記念支部対抗ソフトボール大会』開催される
⑥ 『フレ国際トリエンナーレin愛知』開催について
四十周年記念事業に協賛して、電気文化会館において平成四年三月十日(火)十五日(日)に開催されることとなり、特に十四日(日)には、講師による基調講演、パネルディスカッション等が予定されている。詳細は「愛知の建築」一月号に発表される予定

広報渉外委員会の数ある活動のなかで、主たるものが会報の取組めと発行である。支部長をはじめ皆様の支援助と協力を頂きながら、委員一同で鋭意之に取り組む、今回第三号を皆様のお手許にお届け出来ることになりました。内容については、先の第二号から、特別にお願いして、馬場支部長に執筆して頂いております『建築基準法の解説』で、充実したものになりました。

筆者の豊富な経験と知識による解説は、建築に携わる者にとって身近で必要であるにも拘らず、ややもすれば難解に親しみにくいと云れる基準法を理解するのに、大いに役立つものと思ひます。読物感覚で読んでも楽しく読め、それでいて知識が深まる。そんな読物となる予感がします。シリーズでお願ひしております。御期待下さい。
第2号で、インタビュー

今後の支部活動を、一層軌道に乗せ活性化してゆくためには、皆様の卒直な御意見・要望をお聞きして、支部運営に反映させていく必要があると考え、今回アンケート調査を行うことになりましたので、積極的に御協力頂きますようお願い致します。

〈研修委員会だより〉
本年度の研修委員会の事業は前年度からの継続となった松下電工伊賀上野工場テクニカルプラザにおいて、外装材の勉強会を行い、六月にはヤマザキマザック美濃加茂製作所と同社犬山迎賓館暫遊荘の古い数寄屋造の書院の見学会を当支部

企画で六支部合同で行いました。十月はSRC構造の配筋法とその問題点の勉強会を開催しました。十一月下旬には愛知県内三つの国宝のうち、吉良吉田金蓮寺弥陀堂を含む寺社建築の見学会を当支部企画で六支部合同で行うべく既に皆様の

所へ案内状を発送致しました。多数の御参加を期待しております。
又、明年二月頃には建築工事における紛争に関する研修会を計画中です。又他支部企画による、新水族館の見学会、新NHK会館の見学会も検討されている事を耳にしております。計画実現の折は奮って御参加、御出席を心からお待ちしております。

Advertisement for National Matsuda Denki (松下電工) featuring 'SANGETSU' glass films. Text includes '内装材の新しい提案、『サンゲツ・ガラスフィルム』。ガラスの装飾による新しい空間の演出として、ガラスフィルムは、ガラスをスタンドグラス調、エッチンググラス調、磨りガラス調、ガラスブロック調など4種類の異なる質感のフィルムで構成。21点という豊富な模様・柄のなかからイメージに最適なガラスフィルムを選ぶことができます。' and contact information for Matsuda Denki Co., Ltd.

建築紛争雑感

立川 武

建築紛争を大別すると次のように分類される。
一、建築主と設計業務についての紛争
二、建築確認申請時、近隣との間の紛争
三、施工に伴う相隣との間の紛争
四、建築主と施工業者の間の紛争
五、その他

一、に就いては設計段階での意志の齟齬（そご）くいちがいの意味による不満、他人の中傷による業務の解約など。二、は日照、電波障害、地価への影響及び工事協定など。三、施工に伴う隣地の住民の非協力、及び境界線の確定要求及び五〇糎（センチ）の距離の要求など。四、工事瑕疵による工事残金不払い。
五、前以外の紛争。

以上の紛争解決については、二、については行政機関の指導に従う。
四、については建築工事紛争審査会に依る。
一、二、三、四、五、に就いては裁判所の民事調停制度の利用が適していると思う。管轄の簡易裁判所の民事調停センターへ書面又は口頭で申し立てれば手続は出来る。弁護士を代理人に依頼する必要は必ずしも

ない。書類に貼付する印紙も低額である。裁判所へ紛争の申し立てが受理されると、調停主任裁判官と調停委員二名による調停が開始し、条理にかなない、実情に即した解決が計れる。申し立てられた調停は成立して調書が作成され、その効力は判決と同じである。双方の合意が到底見込めない場合は不調として調停は終了する。その後の解決方法はあきらめる他、訴訟手続が多岐にわたる。

私は昭和五四年以来名古屋地方裁判所、簡易裁判所の民事調停委員として、宅地建物に関する紛争の解決に携り、本年十月現在、二三件の事件を担当して成立事件一六三件（成立率約七割）、大分の紛争事件を担当して感ぜられる事は、紛争に到る原因は双方の信頼関係が無くなることに始まる。

建築業務に携わる諸兄は、常に建築主に充分なる説明と謙虚な態度で終始する事が紛争を生じない基本である様に思う。

（名古屋民事調停協会副理事長、鑑定委員、支部常議員）

白熱した競技が繰り広げられました。4時から表彰パーティが行われました。藤川会長のあいさつに続いて小林40周年記念委員長の乾杯で、炎天下での競技の喉を潤し、梅田事業委員長が成績を発表しました。

優勝は加藤幸春氏（青年部）で、グアム旅行券を獲得しました。またNo.5、No.16のショットホルドでワンオン競技が行われ、失敗した競技者から雲仙災害へのチャリティ基金が数多く寄せられました。我が名古屋支部は2チーム参加したのですが、残念ながら上位入賞は出来ませんでした。初参加です。チーム編成等、反省点は多々ありますが、次回は皆様のご協力を得て頑張ります。

競技結果は次の通り（18ホールストロークプレーでダブルパーア方式）
▽優勝・加藤幸春（青年部）
▽二位・春日井Aチーム
▽三位・丹羽貞夫（小牧）
▽四位・牛垣和真（尾北）
▽五位・丹羽和男（小牧）
△団体の部 四人の合計
▽優勝・春日井Bチーム
▽二位・春日井Aチーム
▽三位・西尾Aチーム
▽四位・西尾Bチーム
▽五位・名古屋港Aチーム

私がゴルフを始めて八年になりますが、ゴルフはまさにエチケットであり、エチケットを差し引けば、何も残らないと言われます。いざれにしろ、清浄な空気の中、緑の芝生を踏んで、太陽の光を浴び、心身共に快楽な気分を招く。大自然のふところに抱かれることの幸せをいう、「頭上は天脚下は地」の言葉をしみじみと思うのである。

人と人との出会いは、いつの間にも不思議です。大切なことです。しかしスポーツを通じて知り合った仲間、他の場合と一味も二味も違うことを経験の方が多かろうと思えます。（支部常議員）

40周年記念ゴルフ大会報告と「私のゴルフ感」

岡田 巖

愛知建築士会の創立40周年記念事業でゴルフ大会が、去る8月1日（木）に岐阜県土岐市のレイクグリーンゴルフクラブ（レイクコース）に於て、22支部42チームと、青年部2チーム等による44チームの参加を得て、大盛況に行われました。

競技は始球式に続き、アウト・インを午前7時30分同時にスタートし、3時す

ぎに終了しました。このレイクコースは、名の通り随所々にレイアウトされた様々な要素を取り入れて自然を生かし、戦略性を高めている為、参加者の皆様の中でも相当苦戦され、池ボチャの現象がよく見られました。猛暑の中、各チームの代表選手が支部の名譽をと、和気あいあいの中に、日頃鍛えた腕を発揮し、

40周年記念ソフトボール大会に参加して

山田 正博

台風一過の青空の下で十月十三日、愛知県青少年公園にて四十周年を記念して支部対抗トーナメント大会と40周年記念大会が開催されました。

当日は前日の台風の影響で開始が少し遅れましたが19支部、20チームが参加し藤川会長・小林実行委員長も出席され開会式が始まりました。

名古屋支部は今回初参加という事もあり、メンバー9名が集まらず同行した息子が飛び入りで参加する事になり、またチームの中に女性のメンバーも必要でした。

希望者がなく会場にて今年度のミス建築に選ばれた、江崎さんに参加していただき豊川支部との試合となりました。

ところが、メンバーも当日は前日の台風の影響で開始が遅れましたが19支部、20チームが参加し藤川会長・小林実行委員長も出席され開会式が始まりました。

名古屋支部は今回初参加という事もあり、メンバー9名が集まらず同行した息子が飛び入りで参加する事になり、またチームの中に女性のメンバーも必要でした。

希望者がなく会場にて今年度のミス建築に選ばれた、江崎さんに参加していただき豊川支部との試合となりました。

ところが、メンバーも当日は前日の台風の影響で開始が遅れましたが19支部、20チームが参加し藤川会長・小林実行委員長も出席され開会式が始まりました。



で他チームからの差し入れで酔酩状態になった参加者もいましたが、記念写真もとりました。マラソンソフトにも参加して最後の40周年記念大会も親睦を重ねた青少年公園での充実した一日を過ごしました。優勝は岡崎チームでした。（支部常議員）

第三十四回建築士会全国大会に参加して

中村 順吉

高円宮殿下、同妃殿下の臨席を賜って、第三十四回建築士会全国大会は千葉幕張メッセに全国の建築士会会員五千余名が集い開催された。（九月二十六日、二十七日）

大会アピビルにあるように、自然環境と技術の共立を、情報の共有は、コミュニケーション、新たな建築士像を求めて

以上の三項をメインに、建築士法を改正して、全建築士の建築士会入会の義務化と登録更新制度を実現させようとしております。

現在建築士の実態把握出来ない建設省及び国土庁建築士会連合会の悲願であると思っています。そのため毎年毎年、相も変らぬアピビルを掲げても何ともならないというのが現状だと思えます。

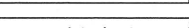
設計監理を職とする我々自由業が自ら中央集権のもとに拘束を求めているのか、疑問の残る事実を毎年思っております。

この大会アピビルのため全国大会に参加しているわけではありません。年に一度愛知の建築士会の仲間と親睦を重ねるための目的でありました。スキーに例えればアプター全国大会なのです。以下それを書かせていただきます。

九月二十七日全国大会終了後、バンケット参加の會長以下数名を残して、一路東京の九段会館に引き返しました。

本会企画ツアー参加の三十数名と共に椅子式の宴会という事で、勝手が少々ちがいましたが、カラオケも出て大変盛り上がりまし

読者のコーナー



危機一髪

鬼頭 駿

昨今一歩外に出れば交通戦争と言ふ世の中。現代社会に於ては車は生活の必需品、当然一家に一台もしくは二台の時代。それに伴ない交通渋滞、交通事故が多くなりまし。私が運転免許を取得してから四十余年余となり、その間に随分危ない目に遭ったことがある。しかし、もしあの時に運が悪ければ命を落しているだろうという体験を記します。

もう十六年前になりませんが、7月の末に友人と三台の車で額田CCへゴルフに出掛け、その帰り道の出

来事でありました。ゴルフクラブで後風呂に入り、食事をし心良い気分「少し疲れがみ」でした。車で帰る道、クラブハウスから山や丘の中の道路で道もせまくなお下り坂。乗って間もない時間なのでドライバーもあまり利かず、気づばりの運転をしていました。が、やがて村落のある一般道路となり、すれ違いも出来る道中となり、車内のクーラーも程良く利き、遂にふらふらと居眠りをしていたので。突然ハンドショックを受け、身体が浮くと同時に前のめりになり、胸を強く打ち目が覚めました。車は田の中で止まっており、慌てて車から降りて道に出て無事であったこと、神仏のお恵に感謝しました。

事故の経過は、道路の進行方向左側に用水路があり、田のあぜ道に入る為御影石橋が架けられ、道路側に35cm位、厚さ15cm程に左前輪が乗り上げそのショックでハンドルがとられ、左側の田に落ちました。

が、その手前道路端には電柱があり、尚その前方には電柱の支え線がありその間隔は10m位で、そのどちらかに衝突していたらと思うと気が遠くなりそうでした。

後からついて来た友人が、事故の時車が1m位ジャンプしたと云って驚いていました。

その上、運が良い時は好運が重なるもので、丁度おまわりさんが自転車で反対方向から通り掛りに事故を見ていらつしやいました。すぐ降りて来て身体の事を心配され、無事を確認してから直ちに車を引上げるレッカー車を手配して頂き、修理に用いる事故証明の用紙も派出所迄とりに行って頂き本当に手厚い行為を受けました。

それを期に、運転する場合はスピードを出し過ぎないこと、眠くなったら休憩するなど自分の腕を過信せず、慎重運転に心掛けるように今でも肝に銘じているところです。（筆者・西區存住六十一才 工務店経営）



翌二十八日は東京ドームを見学しました。竹中工務店のご好意により、巨人軍のピッチング練習場及びベント内も参加者のめいめいの足で感触をたしかめました。中央スピーカーに当たたら認定ホームランにてスポンサーから三百万円ももらえるとか、ミサワホームの看板に当たたら別荘がもらえるとか、年間通し券の料金が七十一万円とか、いろいろお金にまつわる話を聞きました。

ドームを後にして土曜日も渋滞の湾岸道路で横浜に到着しました。中華街のりざーブした店で、しやうこう酒を飲みかわしやうから、来年の神戸で、再来年の旭川と思いを合せました。各支部で実施しているように名古屋西支部でも、支部単位で集って一泊でも二泊でも旅行見学会が実施出来るようにと思えます。

神戸に行つて有馬温泉でも、旭川に行つて北海道一周でも、めいそうにふけりながら、帰途につきました。（副支部長）

日本軽金属(株) 指定代理店 金属製 建具 工事
新日軽(株) 金属内外装仕上工事
エービーシー商会(株)特約販売店 アルウイトラ笠木、エキスパンジョイント

日軽東海建材株式会社

名古屋市中区大井町7番13号 TEL (052)332-2215

木材防虫・防ふステイン

サドリン

ベークラシック
エキストラ

玄々化学 ☎(052)551-6101

名古屋市建築局 事務OA化について

名古屋市建築局では、確認申請の事務処理システム(OA化)の開発準備を現在進めています。そこで広報渉外委員会は十月三日、前回に引き続き、名古屋市建築局指導部審査課長杉浦俊幸氏を訪問し、システムの概要と今後の動向についてお聞きしました。

このシステムは平成四年三月より、まず確認事務処理の第一次を稼働する予定です。消防本部では既に、防災等について電算化を進めており、その予防システムの機械本体を共用し、今回の第一次は建築確認情報の入力システム部分だけの開発であります。今後のシステムの開発スケジュールは表(1)、又建築情報システムの概要は表(2)の予定であります。何れも多少の変更があるかも知れません。

愛知県については、建築確認支援システムである国の予定に準じて進められる様ですが、このシステムを稼働させるには申請者側に機械が必要になり強制できない点があります。

又、建築確認申請の書式は別紙の通りで、記入はマークシート方式です。簡単に記入出来る様ですが、記入する申請者は、メリットが少ないようです。しかし今後このシステムが本格化してきますと、あらゆるデータが集積され、事務処理の効率化が図られます。建築確認申請の用紙及び記入に必要な資料等は無料で支給されるようです。又今回のシステム等の説明会は市が主催で実施される予定ですので、是非出席していただきますようお願い致します。



杉浦課長(中央)を訪ねて

開発スケジュール 表(1)

開発システム名		年 度					
		2	3	4	5	6	7
建築情報システム							
開発順序	開発内容						
第1次システム開発(初期開発)	確認事務処理システム(受付等)	システム開発開始	—————>	稼 動			
第2次システム開発(建築情報システム1)	確認事務処理システム	開発準備(調査)	システム開発開始	—————>	稼 動		
第3次システム開発(建築情報システム2)	定期報告事務処理管理システム 建築相談事務管理システム 建築指導関係事務管理システム 建築地図情報システム			開発準備	システム開発開始	—————>	稼 動
建築確認支援システム(国・特定行政庁)		開 発 中	—————>	稼 動			
建築情報システムと建築確認支援システムとのリンクシステム				システム開発開始	—————>	稼 動	
予防システム(消防局)		開 発 中	—————>	稼 動			

建築情報システムの概要 表(2)

建 築 情 報 シ ス テ ム		
初期開発(平成4年度~)	建築情報システム1(文字情報)(平成5年度~)	建築情報システム2(文字情報・地図情報)(平成7年度~)
<p>確認事務処理システム</p> <p>受付システム(一部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報のデータベース化 OCRによる情報の入力 <p>進行管理システム(一部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防同意事務の簡素化 <p>検索システム(一部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 確認番号による物件検索 <p>情報管理システム(一部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築統計の作成 	<p>進行管理システム</p> <ul style="list-style-type: none"> 確認番号のバーコード化 確認受付台帳の管理 審査の迅速化、正確化 進行状況の把握 情報更新のメンテナンス 工事取止、工事取下 記載事項変更 一部工事取止 <p>検索システム</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種キー項目からの物件検索(問い合わせ対応) <p>情報管理システム</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報のデータベース化 各種統計の作成 不適合建築物の管理 昇降機台帳の管理 <p>審査支援システム</p> <ul style="list-style-type: none"> イメージ処理(概要書の案内図、配置図) 	<p>定期報告事務管理システム</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期報告物件の管理(検索・通知・督促・改善指導) 階別・用途別情報管理(対象範囲拡大) 防災査察物件管理(検索・通知・改善指導) 建設省へのデータ報告 情報のデータベース化 <p>建築相談事務管理システム</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明状況報告書の管理 苦情処理の経過管理 市民相談への対応(検索・情報把握) 相談件数の種別統計 情報のデータベース化 <p>情報管理システム</p> <ul style="list-style-type: none"> 大臣認定評価物件の管理 各種証明書の発行 <p>審査支援システム</p> <ul style="list-style-type: none"> 審査支援 内規管理 条例・規則管理 4号建築物 イメージ処理(指摘事項、経過の管理) <p>建築地図情報システム</p> <ul style="list-style-type: none"> [建築道路管理システム] [許可事務管理システム] [認定事務管理システム] [建築協定事務管理システム] [駐車場事務管理システム] [防災計画事務管理システム] [仮使用事務管理システム] [省エネ事務管理システム] [違反事務管理システム] [公庫事務管理システム] [その他(地盤データetc.)] <p>[地 図]</p> <ol style="list-style-type: none"> ①臨海防災区域 ②建築協定区域 ③用地認定 ④位置指定道路・挾溢道路 ⑤違反物件位置図 ⑥不適合物件位置図 ⑦許可物件位置図 ⑧その他物件位置図 <p>定期報告・駐車場 大臣認定・防災計画 仮使用他</p>
消防局予防システム		



素人でも慣れば、少しは事がスムーズに運ぶのでしょうか。今回の編集作業は、先回より少し早く終える事ができ、世間話をする余裕も出てきました。さて第3号の出来映えは、と考へながら、雨の中帰路につく。(H・I)

後 編
記 集

各種大型テント・TMトラス・産業資材・土木資材

太陽工業株式会社 名古屋支店

〒450 名古屋市中村区名駅南2-8-11
TEL<052>541-5111 FAX<052>541-5112